

第83回 生体制御学セミナー

マウスの養育行動と性行動 を司る神経メカニズム

恒岡 洋右 博士

東邦大学医学部医学科 准教授

日時:2023年11月6日(月) 16:00~17:20(予定)
(第82回セミナー終了後に開催します。)

場所:理-3番教室

要旨:

子への養育行動や繁殖パートナーへの性行動は生得的に動機付けられている社会行動である。これらの行動を司る神経回路はいわゆる”Hard-wired”なものであり、神経系の発生過程で回路が構築される。その中枢は視床下部の内側視索前野であることが古くから知られているが、内側視索前野は他にも体温調節や睡眠覚醒などにも重要な役割を果たしている。本セミナーではこのような多機能性がどのようにして成立しているのかについて、機能解剖学的に検討してきた結果を性差なども踏まえて概説するとともに、未解明の課題についても議論したい。また、これらの研究と並行して開発されたmRNA検出法であるin situ shHCR法についても紹介したい。

参考文献

1. eNeuro, 9 (1): 0405-21 DOI: 10.1523/ENEURO.0405-21.2022
2. Frontiers in Neuroscience, 15: 649159, DOI: 10.3389/fnins.2021.649159
3. Frontiers in Molecular Neuroscience, 13: 75, DOI: 10.3389/fnmol.2020.00075
4. Frontiers in Neuroanatomy 11: 26 DOI: 10.3389/fnana.2017.00026
5. Scientific Reports 7: 9809 DOI: 10.1038/s41598-017-10213-4
6. EMBO Journal, 34: 2652-2670 DOI: 10.15252/embj.201591942
7. Journal of Comparative Neurology, 521 (7): 1633-1663. DOI: 10.1002/cne.23251

問い合わせ先:塚原 伸治(内)796168、stsuka@mail.saitama-u.ac.jp